



ZF、東京都交通局に採用されるフルフラットバスに リヤアクスルとトランスミッションを供給

- 低ノイズ、メンテナンス性の高さ、乗降のしやすさによる運航の円滑化などメリットの多い低床バス向けリヤアクスル「AV133」
- 変速性能、ノイズ、燃費効率等の性能に優れた「EcoLife」6速オートマチック・トランスミッション
- バス事業者の事業効率と乗客の安全性・快適性向上に貢献

ZF ジャパン株式会社(本社:神奈川県横浜市中区;代表取締役社長:中根義浩)は本日、東京都交通局が2018年に導入を開始するフルフラットバスに同社の大型バス用リヤアクスルとトランスミッションが採用されたことを発表しました。

東京都は、都営の路線バスにフロアの段差がなく利用者の安全に貢献するフルフラットバスの運行を予定しています。フルフラットバスは、ノンステップバスにある通路部の段差を無くし、高齢者も含めすべての乗客が後方まで移動しやすくなるため、前方での混雑緩和によるスムーズな乗降やラッシュ時の快適性向上にもメリットがあります。

採用が決まったフルフラットバスに採用されるZFの大型バス向け低床リヤアクスル「AV133」は、低ノイズ、メンテナンス性の高さ、乗降のしやすさによる運行の円滑化など路線バス事業者にとっても多くのメリットがあります。また、大型バス向け6速オートマチック・トランスミッション「EcoLife(エコライフ)」も同車両に採用されることが決まりました。EcoLifeは変速性能、ノイズ、燃費効率、メンテ期間等の運行コスト等の性能に優れています。

EcoLifeオートマチック・トランスミッションは7タイプを取り揃えています。対応入力トルクは1,000~2,300Nm(ニュートンメートル)で、車体総重量32トンまでのバスに効率的かつパワフルな駆動力を提供します。ZFは、2007年からEcoLifeオートマチック・トランスミッションを生産しており、先代機種であるEcomat(エコマット)の生産と並行して市場に投入され、世界市場で大きな実績を残しています。

大型商用車向けのドライブラインおよびシャシ・テクノロジーの東京都による採用について、ゼット・エフ・ジャパン株式会社の中根義浩代表取締役社長は次のように語っています;

「ZFは、一般に乗用車向けの駆動系、シャシー関連および高度運転支援システム(ADAS)などで知られていますが、大型車両向けの製品も海外では



PRESSE-INFORMATION
PRESS RELEASE

Page 2/2, 2018-02-28

多くの商用車メーカーに採用頂いています。今回、当社の技術が日本のお客様の安全性と効率の向上に貢献できることを、非常にうれしく感じています。今後も ZF は、安全、効率、自動運転を柱として、日本をはじめとする世界各国の自動車メーカーのニーズに応えるソリューションの提供に努力していきます。」

画像: ZF

お問い合わせ:

コーポレート・コミュニケーション 中村典子

JapanPresse.TKY@zf.com

ゼット・エフ・フリードリヒスハーフェン AG について

ZF は 駆動系、シャシ・テクノロジーおよびアクティブ&パッシブ・セーフティ・テクノロジーの分野で世界をリードする自動車関連部品のグローバル・サプライヤーです。総従業員数はおよそ 14 万人、世界 40 カ国に 230 の生産拠点を展開しています。2017 年のグループ総売上は暫定で約 360 億ユーロです。新たな価値を生み出す革新的な製品を提供し続けるため、ZF では毎年、総売上の約 6 パーセントを研究開発に投資しています。また、ZF は、世界最大の自動車サプライヤーの 1 社です。

ZF は、くるまの「見て、考えて、動かす(see, think, act)」を可能にします。その技術により、ZF はビジョン・ゼロ(交通事故ゼロ)やエミッションフリーのモビリティの世界に向けて取り組んでいます。幅広いポートフォリオを持ち、自動車、商用車、および産業技術分野におけるモビリティとサービスを進化させていきます。